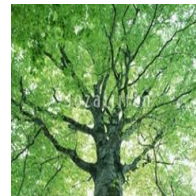


## 新産業シーズ発表会

# 木質系材料の成形加工技術の最前線

- 日時：平成27年3月6日(金)13:00~16:50
- 場所：名古屋市工業研究所 第1会議室(管理棟3F)
- 参加費：無料
- 主催：公益財団法人名古屋産業振興公社



環境への配慮や持続可能な社会実現の視点から、プラスチックの代替材料として、木質系材料が注目されています。木質材料を塑性変形させて複雑形状の部材へ成形加工する技術等、木質系材料の成形加工技術に関する最新の研究成果やこの技術を応用して製品化された事例についてご紹介します。

## ● プログラム

12:45~	受付
13:00~13:05	主催者挨拶 (公財)名古屋産業振興公社 理事長 安井 孝治
13:05~13:55 講演1	「木質系材料の成形加工の現状と課題」 京都大学 生存圏研究所 循環材料創成分野 教授 金山 公三氏
木質系材料の利用は、地球温暖化対策とともに埋蔵資源枯渇対策としても有効である。しかしながら現状では利用量は少ない。そこで、利用促進を目指した成形加工など、工学的視点からの取り組み例を紹介する。	
13:55~14:35 講演2	「木質系材料の流動現象の発現と応用技術」 独立行政法人産業技術総合研究所 サステナブルマテリアル研究部門 木質材料組織制御研究グループ 主任研究員 三木 恒久氏
産総研では、塊状木材であっても、適切な雰囲気条件において細胞間でのすべり変形を起点として流動現象が生じることを見出した。これを、塑性加工技術へ応用することで木材の工業材料としての利用拡大が期待される。	
14:35~14:45	休憩
14:45~15:00 講演3	「木質系材料の音響分野での可能性と実例」 チヨダ工業株式会社 設計部 山田 哲也氏
音響分野で使われている材料は、電気回路を除くと殆ど木と金属でできている。そしてその多くが流動成形による木質系材料に置き換えることが可能と期待される。講演では、当社で取り組んだ事例を紹介する。	
15:00~15:40 講演4	「竹および杉由来の木質系材料製品化事例」 シヤチハタ株式会社 新規事業部 部長 牧野 智成氏
木材・プラスチック複合体(WPC)は、資源循環や環境負荷の観点からまだ改良の余地がある。産学官の共同研究を通じた間伐材を最大80%含有するペレット材料、100%の圧縮成形材料、各種成形技術の開発と最新の製品化事例について紹介する。	
15:40~16:30 講演5	「木材・プラスチック再生複合材(WPRC)の加工技術と標準化」 京都府立大学大学院 生命環境科学研究科 准教授 古田 裕三氏
木材・プラスチック再生複合材(WPRC)は、環境配慮型新建材であり、近年、エクステリアを中心に世界中でシェアが拡大しており、標準化や技術開発が進められている。講演ではそれらについて概説する。	
16:30~16:50	名刺交換会 講師の方と名刺交換

- **場所：名古屋市工業研究所 第1会議室(管理棟3F)**  
名古屋市熱田区六番三丁目4-41

◆ **交通アクセス：**

地下鉄：名港線（金山から名古屋港行）  
「六番町」下車（3番出口）すぐ

市バス：栄22系統（栄一港区役所）、  
幹神宮2系統（神宮東門一権野）等「六番町」下車すぐ  
※地下鉄・市バスの時刻表等は、名古屋市交通局ホームページを参照して下さい。

<http://www.kotsu.city.nagoya.jp>

三重交通バス：名古屋駅（名鉄バスセンター）発  
「熱田六番町」下車すぐ



- **定員：80名（申込順）**

- **お申し込み方法** 参加申込書に必要事項をご記入の上、  
名古屋市産業振興公社 研究推進部までFAXでお申し込みください。

- **お問い合わせ** (公財)名古屋市産業振興公社 研究推進部

〒463-0003 名古屋市守山区大字下志段味字穴ヶ洞2271-129

TEL 052-736-5680 FAX 052-736-5685

<http://www.nipcc.or.jp>

**FAX:052-736-5685**

**申込締切 2月25日(水) 必着**

● **新産業シーズ発表会 (H27.3.6) 参加申込書**

会社名・団体名			
氏名		所属・役職	
住所	〒		
TEL・FAX			
Eメール			

※ご記入いただいた個人情報は受付管理に使用させていただくとともに、今後、公益財団法人名古屋産業振興公社が主催・共催します展示会・講演会などのご案内をさせていただくことがあります。第三者に提供することはありません。

**主催：公益財団法人名古屋産業振興公社**